

1月です。今月は一学期最後の月で、学期の終わりにあるテストに向けての大きな課題に追われた一か月でした。

私が取っていた4教科の中で特に英語と歴史のクラスの課題が成績にも反映される大きなもので、毎日パソコンに向かって取り組みました。どちらもプレゼンテーションを作る課題だったのですが、英語ではクラスが始まった時から借りて読んでいた本を紹介するプレゼンを作り、歴史は習った時代ごとの特に重要な出来事を文章と写真でまとめたものを作りました。

英語の本は日本語で読んでいる時とは違い、6、7割の理解度でじっくりと読んでいたので重要なことが書いてあるページやそのセリフなどを引用するために何度も文章を読み返して探す必要があり、特に大変でした。しかし、これまでに読んだことのない厚さの本を読み、細かく理解して紹介したことは少し前の自分からすれば到底できないことで、今考えてもよくやり切ったなと思います。ちなみに読んだのは“Red River Girl”という実際に2014年にカナダで起きた事件の捜索についての本です。先住民の15歳の女の子がRed Riverという名前の川で発見された未解決の殺人事件で、先住民の人々の社会的な問題が大きく反映された、現代のカナダにおける深刻な問題が世界に知らしめられた大きな出来事だそうです。

同時進行で取り組んだ歴史のプレゼンは各時期ごとの重要な出来事を10個選び、概要や本や記事の引用などをまとめるものでした。実際の人々の意見などを探し、引用する必要があったので思っていたよりも時間がかかり大変だったように感じます。最後のテスト前の配点も高い課題だったのでできる限りの努力をしました。

一月はとにかく中間から後半にかけて課題に追われていた一か月でした。他には雪がたくさん降ったので、雪の中を散歩したり、スケートをしたりと冬らしいことを堪能できた月でした。そして、私よりも6か月ほど先にいた日本人の友達が一月の終わりに帰っていきました。彼女は現地校の先駆者として、右も左もわからない中で支えてくれたとてもありがたい存在であったため悲しかったのですが、日本に帰った後また会うことを約束し、お別れをしました。

カナダに来て五か月が経ち、折り返し地点となりますが、初心を忘れず時間を大切に過ごしたいと思います。